

12月22日は、1年生で加東市選挙管理委員会から講師をお招きし、政治的教養を高める講演会を実施しました。選挙年齢引き下げに伴い、高校3年次の誕生日以降選挙に参加する権利を得られることから選挙啓蒙活動として取り入れられた講演会です。そこでは、兵庫県の10代の選挙の投票率が全国で一番低いという結果からなぜ選挙に行かねばならないかを伝えていただきました。来年は県知事選挙と衆議院選挙、そして1年生が3年生になるときは、参議院選挙と加東市長、加東市議会議員選挙が行われます。自分たちの投票で代表者を選ぶ選挙ですから、一票の重みを感じて選挙権を行使してください。よろしくお願いします。

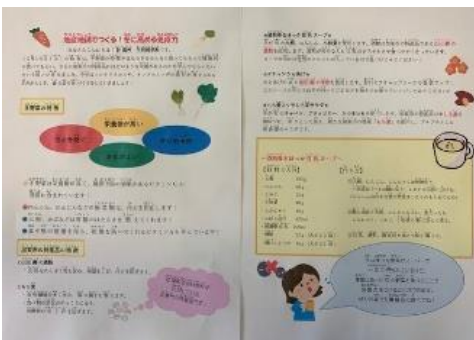


体育科では、同日、インスパイアハイスクール事業で講演会を開催し、SEB

体育企画株式会社の佐藤チーフトレーナーに来ていただきました。将来スポーツトレーナーを目指したり、体育指導者を目指したりする生徒が多い本校にとっては、非常に心強い講師です。2時間にわたって、実技を交えながら個人の感覚や指導場面での大切なこと、トレーナーとしての役割など細かな内容を自身の経験を踏まえて話していただきました。日本ではトレーナーという資格が限られており、逆にその資格があるために十分な活動ができていなかったり、チームの一員として参画してもらうにあたって経験の少なさが邪魔してチーム所属のトレーナーになれなかったりしているケースが多いようで、実際の活動が大切だということも話されていました。資格社会でありながら十分に使えないことがあるとは思っていただけに意外な話の内容でした。また選手を指導する際にも腰重心と、肩膝重心の選手がいて、それぞれの体のイメージが違うことからそのような理解がないと適切な指導ができないなど生徒たちだけでなく私たち教員も大変勉強になりました。大いに刺激を受けたことをしっかりと活かしていけるよう学びを深めていきましょう。



報告が遅くなりましたが、生活科学科3年生栄養班が学校給食研究事業の一環で、12月15日に自分たちが考えた献立を給食センターで調理し、実際に市内の小中学校で提供されました。「地産地消で作る冬に高める免疫力」と題したチラシも作成し、メニューの紹介や冬野菜の特徴など食べ物に親しみやすい内容にしています。実際に「おいしかった」との声いただき、生徒たちにとっても貴重な経験となりました。お疲れ様でした。



専門学科では特色ある授業やイベント参加などお伝えする内容も多いですが、看護医療類型は病院でのインターンシップや体験が全くできない状況で校内での授業のみとなっています。普通科も行事をお伝えするしかできず、こういったことが今後の課題ともいえます。そんな中、1月には恒例の3学科研究発表を行う予定です。そこには1年総合的な探究の時間での地方創生に係る発表もあり、レベルの高い地域連携をしていく

ためにも経験を積んでもらう予定にしています。少しずつですが普通科の活動も広げていければと考えています。

23日には各学年で学年集会がありました。2.3年生の学年集会では、私から修学旅行の延期による学校行事の日程変更の話をしていただきました。2年生の修学旅行を2月27日から3泊4日で北海道トマムスキー場に行くことを決定し、そのことにより卒業式が2月27日の予定であったものを2月26日に変更するというもの

です。第2学年で実施するとなるとその時期しかなかったのご理解のほどお願い申し上げます。またその時の状況によってはさらに延期ということも予想されますので、実施の可否については2月第1週をめどに判断したいと考えています。相次ぐお願いとなりますがよろしく願いいたします。

そして24日終業式。今回も放送による終業式とさせていただきます。私からは、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する話と阪急東宝グループ創始者の小林一三さんの「下足番を命じられたら 日本一の下足番になってみろ そしたら誰も君を下足番にしておかぬ」という話を紹介しました。下足番とは座敷に上がるときに履物を脱ぐ場所で必要とされる仕事です。一見目立たない仕事ですが、その店の顔ともいわれる仕事にもなり、評判に影響してくる重要な仕事でもあります。誰かがやらなければならない仕事ですが、その仕事を全力で取り組むことで周りの信頼を得て引く手あまたになるということだと思います。多くの仕事が自分の思い通りにならないことも多く、また自分のしたい仕事ばかりではないと思います。嫌なことも苦手なことも引き受けてやらねばならない時もあるでしょう。そんな時自分のできることを精一杯やろうとする姿勢を見せることが大切です。自分一人ではできない仕事も多いですから、周りの協力に感謝し、できることをしっかりと責任をもって果たす、さらには周りのことを考えてより良い方法を探すことで自らに磨きをかけることができます。高校時代はその力を養うチャンスですから与えられた環境を充実させる工夫を試みようと言いました。また、表彰伝達も、生徒指導部からの報告という形で披露させていただきました。



最後に健康チェック、教室の換気、マスク着用などご家庭の協力もいただきながら2学期何とか無事に過ごせました。本当にありがとうございました。まだまだ終わりが見えない中、継続していかなければなりません。特に年末年始は人の往来も多くなりますので、ご家庭でも十分な注意をしていただき、何かございましたら担任、学校までご連絡をください。さらなるご協力とご理解をお願い申し上げます。

生徒の皆さん、1月8日始業式、元気な姿で登校してください。